

2027年2月期第2四半期（中間期）

決算説明資料

2026年10月9日



近鉄百貨店

1. 連結業績 （ P 2 ～ 3 ）
2. セグメント別の業績 （ P 4 ）
3. 中間連結貸借対照表 （ P 5 ）
4. 2 0 2 6 年度通期業績予想 （ P 6 ）
5. その他 （ P 7 ～ 9 ）

1. 連結業績

- ◆営業利益・経常利益で、増益を確保
- ◆近鉄百貨店は、大阪・関西万博の反動減はあったものの、国内売上・免税売上とも好調に推移
- ◆近創の工事受注が増加し、増収増益

(単位: 百万円、%)

	2026年2月期 中間期	2027年2月期 中間期	増減額	増減率	増減要因	7/10公表値 との増減額	増減率
売上高	62,546	57,362	△5,184	△8.3	近百△5,100、ｼｰﾅﾙ△1,000 近創+1,901	362	0.6
営業利益	2,620	3,014	393	15.0	近百+212、近創+367 近配△88、ｼｰﾅﾙ△76	314	11.6
営業外収益	667	835	167	25.1			
営業外費用	658	798	139	21.2			
経常利益	2,630	3,052	421	16.0		352	13.0
特別利益	4,531	558	△3,972	△87.7	(本年) 工事負担金等受入額(四日市店) 505 (前年) 名古屋店閉店に伴う受取補償金4,531		
特別損失	2,198	531	△1,666	△75.8	(本年) 固定資産圧縮損(四日市店) 407 (前年) 名古屋店舗閉鎖損失1,990		
中間純利益	3,580	2,220	△1,359	△38.0		520	30.6

1. 連結業績

販管費の内訳

(単位: 百万円、%)

	2027年2月期 中間期	対前年 増減額	対前年 増減率
人件費	8,951	118	1.3
物件費	2,312	△285	△11.0
宣伝費	475	5	1.3
諸費	6,157	△1,780	△22.4
賃借料	5,592	△243	△4.2
減価償却費	2,037	△380	△15.7
諸税	575	△71	△11.0
販管費計	26,102	△2,635	△9.2

◆販管費計は万博関連費用・名古屋店の閉店により対前年△9.2%減。

2. セグメント別の業績

- ◆百貨店業では、大阪・関西万博の反動減はあったものの、国内売上・免税売上とも好調に推移し減収増益
- ◆卸・小売業では、シュテルン近鉄がモデルチェンジ前で減収減益
- ◆内装業では、近創がホテル工事の受注が好調に推移したことに加え、益率の向上により増収増益

(単位:百万円)

	百貨店業	卸・小売業	内装業	不動産業	その他事業	計	調整額	中間連結損益計算書計上額
売上高								
外部顧客への売上高	46,252	6,685	3,125	187	1,111	57,362	—	57,362
セグメント間の内部売上高又は振替高	20	293	2,002	25	703	3,044	△3,044	—
計	46,272	6,979	5,127	212	1,815	60,407	△3,044	57,362
セグメント利益又は損失(△)	2,379	54	699	132	△50	3,216	△201	3,014

3. 中間連結貸借対照表

(単位:百万円)

	2026年2月期	2027年2月期 中間期	増減額	増減要因
流動資産	41,065	36,623	△4,442	現金及び預金や未収入金の減
固定資産	83,683	84,375	692	株価上昇による投資有価証券の増
資産合計	124,749	120,999	△3,750	
流動負債	74,746	68,524	△6,221	未払法人税等・未払金の減
固定負債	4,178	4,623	445	
負債合計	78,924	73,148	△5,775	
純資産合計	45,825	47,850	2,025	
うち利益剰余金	18,002	19,416	1,414	親会社株主に帰属する中間純利益による増
うち自己株式	△219	△124	94	株式需給緩衝信託®による自己株式の処分
うちその他の包括利益累計額	4,179	4,708	528	その他有価証券評価差額金の増
負債・純資産合計	124,749	120,999	△3,750	
有利子負債残高	2,192	2,251	59	

4. 2026年度通期業績予想

2027年2月期業績予想（連結）

（単位：百万円、％）

	2026年2月期	2027年2月期	増減額	増減率	7/10公表値との増減額	増減率
売上高	125,450	117,000	△8,450	△6.7	1,000	0.9
営業利益	6,718	6,200	△518	△7.7	600	10.7
経常利益	6,613	6,100	△513	△7.8	600	10.9
純利益	3,709	4,000	290	7.8	100	2.6

2027年2月期業績予想（個別）

（単位：百万円、％）

	2026年2月期	2027年2月期	増減額	増減率	7/10公表値との増減額	増減率
売上高	104,768	94,700	△10,068	△9.6	900	1.0
営業利益	6,001	5,400	△601	△10.0	600	12.5
経常利益	5,770	5,100	△670	△11.6	600	13.3
純利益	3,107	3,600	492	15.9	300	9.1

5. その他

I. 個別業績

- ◆大阪・関西万博の反動減があったものの、国内売上・免税売上とも好調に推移し
営業利益・経常利益で増益を確保

(単位: 百万円、%)

	2027年2月期 中間期	対前年 増減額	対前年 増減率	増減要因	7/10公表値と の増減額	増減率
売上高 (収益認識基準適用前)	47,029 (115,444)	△5,100 (△3,185)	△9.8 (△2.7)		1,029	2.2
営業利益	2,573	212	9.0		173	7.2
営業外収益	1,197	104	9.5			
営業外費用	996	41	4.3			
経常利益	2,775	275	11.0		475	20.7
特別利益	558	△3,972	△87.7	(本年) 工事負担金等受入額(四日市店) 505 (前年) 名古屋店閉店に伴う受取補償金4,531		
特別損失	618	△1,610	△72.2	(本年)固定資産圧縮損(四日市店) 480 (前年)名古屋店舗閉鎖損失1,993		
中間純利益	2,015	△1,501	△42.7		615	44.0

5. その他

Ⅱ. 店別売上高（2027年2月期中間期決算）

（単位：百万円、％）

	本年	対前年 増減額	対前年 増減率
あべのハルカス（Hoop等を含む）	26,342	△5,008	△16.0
上本町店	3,793	96	2.6
東大阪店	635	23	3.8
奈良店	3,833	51	1.4
橿原店	2,126	66	3.2
生駒店	1,366	55	4.3
和歌山店	3,271	274	9.1
草津店	2,308	182	8.6
四日市店	3,351	78	2.4
名古屋店※	—	△920	△100.0
合計	47,029	△5,100	△9.8

（注）あべのハルカス近鉄本店

19,704

1,647

9.1

※名古屋店は、2026年2月28日をもって閉店しました

5. その他

Ⅲ. 商品別売上高（2027年2月期中間期決算）

（単位：百万円、％）

	本年	対前年 増減額	対前年 増減率
紳士服	889	△82	△8.4
婦人服	3,491	△33	△0.9
子供服	514	39	8.3
その他衣料品	1,925	△170	△8.1
身回品	3,171	130	4.3
家具	201	1	0.6
その他家庭用品	817	50	6.5
食料品	14,167	△2,795	△16.5
食堂喫茶	528	△100	△15.9
雑貨	7,157	△3,390	△32.1
化粧品	7,680	889	13.1
サービス	669	△19	△2.8
その他	5,815	379	7.0
合計	47,029	△5,100	△9.8